



綱河 秀二
(公明党)

**褒める教育で
いじめ発生予防を**

問 学校教育において、児童生徒がお互いを褒め合うなどの取り組みを実施している他市では、自己肯定感や自尊感情、互いを大切に育むという効果があるという。

答 市内の各学校では、児童生徒が友だちの礼儀正しいあいさつや親切な行動などをカードに書き、廊下に掲示して認め合ったり、教師が他の模範となる行いをした児童

生徒を集会で紹介するなど、学校の実態に応じて、褒めて伸ばす教育を実践しており、こうした取り組みをさらに全小・中学校に広めていきたい。

また、より一層効果を上げるためには、学校だけでなく、家庭や地域の大人が総ぐるみで、子どもを育てていく必要があるため、魅力ある学校づくり地域協議会や市PTA連合会などにも働きかけ、さらに子ども達を褒め、認め励ますことを大切にしたい教育を推進していく。



▲互いの良いところを記入したカード

その他の質問項目

- ①都市公園内への自治会集会所の設置許可
- ②悠久の丘(包括外部監査の指摘事項ほか)
- ③ジェネリック医薬品の普及促進(これまでの取り組みほか)
- ④雨水による災害対策(公共下水道雨水整備計画ほか)
- ⑤いじめの根絶(いじめ防止対策推進法ほか)



馬 上 剛
(自民党)

都市部の街路灯管理と国の補助制度の活用を促進せよ

問 商店街にとって街路灯の電気代の負担は重い。市の助成もあるが、国の多種多様な補助制度は、申請期間が短く、申請方法が複雑なものがある。補助金申請に応募したいという方が機会を失うことがないよう、情報をタイムリーに伝達する仕組みをつくることも、今後値上げが予想される電気代や消費税増税などを考慮したときに、LED化を含むハード自体の切替を推進していく考えはあるのか。

答 国の補助制度は各庁のホームページや県を通して周知されることが多いことから、県や市内

各課との情報交換を密にしながら、商店街で活用できる情報を広く収集し、商工会議所や商店街連盟などを通じ、迅速かつ積極的に提供していく。

街路灯のLED化について市では「共同施設設置・維持管理費補助金」で対応しているが、24年度末から国でも補助制度を設けており、現在も、みはし通り商店会や岩倉東商店会などで補助金の申請を行っている。商店街の負担軽減策は重要であるので、電気代の抑制に繋がるLEDへの切り替えも、国の補助制度の活用促進と併せて既存補助の見直しも検討していく。

その他の質問項目

- ①市の目指すべき都市形成ビジョン(LRT推進ほか)
- ②市財政と行政経営課題(職員の退職支援制度ほか)
- ③市民の安心な生活を守ること(雨水幹線整備)
- ④消防行政課題(消防団員の確保ほか)
- ⑤教育行政課題(学校の安心・安全ほか)



舟本 肇
(自民クラブ)

道路・河川・橋梁維持管理の徹底を

問 日常生活を安全・安心に暮らしていく上で、道路・河川・橋梁などの維持管理は、欠かせないものであるが、近年、異常気象によるゲリラ豪雨もあり、昼夜を問わず対応していただいている。これらに対する市民からの要望は、ここ数年、年間4千件を超えているが、内容によっては、老朽化による事故など市民生活に影響を及ぼしかねないものもある。そこで、これらの市民要望について、現在どれくらいの割合で処理できているのか。

答 道路などの維持管理については、日常のパトロールにより損傷を確認

した場合、補修を行うなど安全性の確保に努めているが、近年、市民からの要望は、件数も増加しており、内容も多様化する傾向となっている。

このため、道路の穴うめや倒木対応など緊急・応急的な措置が必要な案件と、道路の改修や冠水対策など、詳細な調査や計画的な措置が必要な案件に分けて対応を行っており、24年度は、約8割の案件の措置を完了し、それ以外の案件については、現在その対応を継続しているところである。



▲修繕の様子

その他の質問項目

- ①ひとり親家庭就労支援と女性の就労支援
- ②空き家条例(実態調査の結果、先進的取り組み事例ほか)
- ③建設・都市整備行政
- ④指定管理者制度
- ⑤包括外部監査報告書「指定管理者制度に関する事務の執行」の中から
- ⑥教育行政(退職教員の活用ほか)